

Jプレミアム・インカムファンド (年4回決算型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2022年7月27日から2032年10月28日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	外国投資信託証券である「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)III-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)III-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス) 担保付スワップ取引を通じて、実質的に代表的な日本の株価指数を原資産としたブットオプションを売却する想定上の取引戦略に対するエクスポートエージャーを提供することにより、中長期的な資本成長の提供を目指して運用を行います。 マネーアカウントマザーファンド わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時(1月、4月、7月、10月の各28日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

運用報告書(全体版) (第7作成期)

第12期(決算日 2025年7月28日)

第13期(決算日 2025年10月28日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「Jプレミアム・インカムファンド(年4回決算型)」は、2025年10月28日に第13期決算を行いましたので、第12期から第13期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率	UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(道格機関投資家限定)(分配型クラス)組入比率	純資産額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
第3作成期	4期(2023年7月28日)	円 9,994	円 50	% 0.2	% —	% —	% 98.2	百万円 4,596
	5期(2023年10月30日)	9,967	50	0.2	—	—	97.9	8,012
第4作成期	6期(2024年1月29日)	9,952	50	0.4	—	—	98.2	8,140
	7期(2024年4月30日)	9,920	45	0.1	0.3	—	98.4	8,045
第5作成期	8期(2024年7月29日)	9,888	45	0.1	0.3	—	98.2	7,897
	9期(2024年10月28日)	9,862	45	0.2	0.3	—	98.3	3,538
第6作成期	10期(2025年1月28日)	10,014	50	2.0	0.3	—	98.2	3,406
	11期(2025年4月28日)	10,022	50	0.6	0.3	—	98.1	3,285
第7作成期	12期(2025年7月28日)	10,111	50	1.4	0.4	—	98.7	3,083
	13期(2025年10月28日)	10,147	50	0.9	0.3	—	98.1	2,772

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指標に連動すること、特定の指標を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債券組入比率	債券先物比率	UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(道格機関投資家限定)(分配型クラス)組入比率
		騰落率			
第12期	期首(第11期末) 2025年4月28日	円 10,022	% —	% 0.3	% —
	4月末	10,037	0.1	0.3	98.1
	5月末	10,098	0.8	0.3	98.2
	6月末	10,126	1.0	0.3	98.5
	期末 2025年7月28日	10,161	1.4	0.4	98.7
第13期	期首(第12期末) 2025年7月28日	10,111	—	0.4	98.7
	7月末	10,107	△ 0.0	0.4	98.2
	8月末	10,130	0.2	0.3	98.2
	9月末	10,152	0.4	0.3	98.4
	期末 2025年10月28日	10,197	0.9	0.3	98.1

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

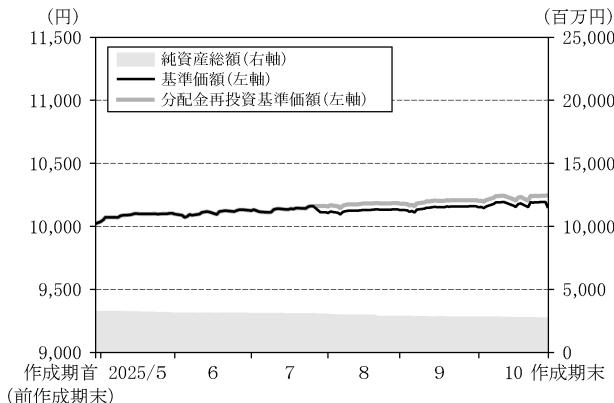
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指標に連動すること、特定の指標を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第12期首：10,022円

第13期末：10,147円(既払分配金100円)

騰落率：2.2%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年4月28日)の値が基準価額と同一となるように指教化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「U B S ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」において、プットオプションの売却によるプレミアムがプラス寄与した結果、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

■ 投資環境

【株式市況】

日経平均株価は、作成期初から2025年5月にかけては、利益確定目的の売りなどが重荷となる局面もありましたが、米中貿易摩擦緩和への期待から米国株式市場が上昇したことなどにより、上昇しました。6月は、イスラエルとイランの軍事衝突による中東情勢の緊迫化が株価の重荷となる局面もありましたが、トランプ米大統領によるイスラエルとイランの停戦合意発表や米ハイテク株の上昇を受けて、上昇しました。7月は短期的な過熱への警戒感から上値が重くなった後、参院選で与党が過半数割れとなったものの市場では概ね予想の範囲内と受け止められるなか、日米関税交渉の合意が好感されたことなどを背景に上昇した後、利益確定目的の売りに押されて、上昇幅を縮める展開となりました。作成期末にかけては、A I(人工知能)ブームを受けた半導体関連株の活況や、F R B(米連邦準備制度理事会)による利下げ継続期待、高市新政権への期待などを背景に、上昇基調で推移しました。

■組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
U B S ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)	2.9%
マネーアカウントマザーファンド	0.2

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヶ月物利回りは、作成期首の0.38%から作成期末は0.43%となりました。作成期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)III-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」を高位に組入れ、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。

【UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)III-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)】

ユービーエス・エイ・ジー ロンドン支店を相手方とする担保付スワップ取引を通じて、日経平均株価を原資産とした満期約1ヶ月、権利行使価格が日経平均株価の92%となるプットオプションの売却を行う戦略である日本株式プレミアム戦略の投資成果を実質的に享受することを目指す運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は基準価額水準、市況動向等を勘案し、第12期、第13期ともに50円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)(分配型クラス)】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に日経平均株価を原資産とした満期約1カ月のプットオプションの売却を行います。売却するプットオプションの権利行使価格をプットオプション構築時の日経平均株価の92%とすることで、日経平均株価の下落による損失を低減しつつ、プレミアムの獲得を目指します。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は比較的安定的に推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細(2025年4月29日から2025年10月28日まで)

費用の明細

項目	第12期～第13期		項目の概要	
	2025/4/29～2025/10/28			
	金額	比率		
平均基準価額	10,108円		作成期間の平均基準価額です。	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	58円 (23) (33) (2)	0.576% (0.229) (0.331) (0.017)	(a) 信託報酬=作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b) その他費用=作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用	
合計	59	0.584		

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

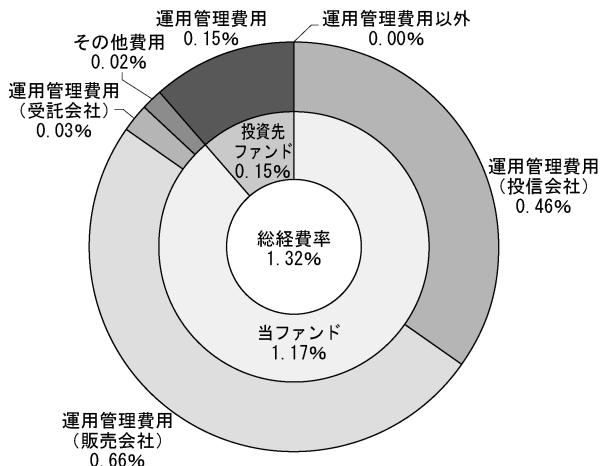
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.32%です。



総経費率 (①+②)	1.32%
①当ファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況(2025年4月29日から2025年10月28日まで)

(1)投資信託証券

		第12期～第13期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン)III-日本株式プレミアム戦略ファンド (適格機関投資家限定)(分配型クラス)	口 一	千円 —	口 53,960	千円 540,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2)親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第12期～第13期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネーアカウントマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 2,952	千円 2,960	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等(2025年4月29日から2025年10月28日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細(2025年10月28日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第11期末)		当作成期末(第13期末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド (適格機関投資家限定)(分配型クラス)	325,657	271,696	2,720,772	98.1	%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第11期末)		当作成期末(第13期末)	
	口 数	千 口	口 数	評 価 額
マネーアカウントマザーファンド	17,939	17,939	14,987	15,039

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は47,960千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成(2025年10月28日現在)

項 目	当作成期末(第13期末)	
	評 価 額	比 率
U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド (適格機関投資家限定)(分配型クラス)	2,720,772	96.7
マネーアカウントマザーファンド	15,039	0.5
コール・ローン等、その他	78,096	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	2,813,907	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年7月28日現在 2025年10月28日現在

項目	第12期末	第13期末
(A) 資産	3,125,871,790円	2,813,907,851円
コール・ローン等	65,619,063	78,095,038
U B S ニューパーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド (適格機関投資家限定)(分配型クラス)(評価額)	3,042,272,479	2,720,772,336
マネーカウントマザーファンド(評価額)	17,979,436	15,039,509
未収利息	812	968
(B) 負債	42,294,796	41,661,518
未払収益分配金	15,248,371	13,660,083
未払解約金	17,802,890	19,481,744
未払信託報酬	9,112,754	8,399,159
その他未払費用	130,781	120,532
(C) 純資産総額(A-B)	3,083,576,994	2,772,246,333
元本	3,049,674,225	2,732,016,735
次期繰越損益金	33,902,769	40,229,598
(D) 受益権総口数	3,049,674,225口	2,732,016,735口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,111円	10,147円

(注) 当ファンドの第12期首元本額は3,278,394,273円、第12～13期中追加設定元本額は2,693,807円、第12～13期中一部解約元本額は549,071,345円です。

(注) 第13期末の1口当たり純資産額は1,0147円です。

損益の状況

第12期 自2025年4月29日 至2025年7月28日
第13期 自2025年7月29日 至2025年10月28日

項目	第12期	第13期
(A) 配当等収益	25,818,683円	23,286,043円
受取配当金	25,765,490	23,229,975
受取利息	53,193	56,068
(B) 有価証券売買損益	25,843,230	8,743,023
売買益	27,598,599	9,577,374
売買損	△ 1,755,369	△ 834,351
(C) 信託報酬等	△ 9,243,535	△ 8,519,691
(D) 当期損益金(A+B+C)	42,418,378	23,509,375
(E) 前期繰越損益金	△ 2,115,264	22,424,186
(F) 追加信託差損益金	8,848,026	7,956,120
(配当等相当額)	(23,531,108)	(21,108,540)
(売買損益相当額)	(△ 14,683,082)	(△ 13,152,420)
(G) 合計(D+E+F)	49,151,140	53,889,681
(H) 収益分配金	△ 15,248,371	△ 13,660,083
次期繰越損益金(G+H)	33,902,769	40,229,598
追加信託差損益金	8,848,026	7,956,120
(配当等相当額)	(23,531,108)	(21,108,540)
(売買損益相当額)	(△ 14,683,082)	(△ 13,152,420)
分配準備積立金	34,121,934	33,971,537
繰越損益金	△ 9,067,191	△ 1,698,059

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

[第12期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(21,198,764円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(23,531,108円)および分配準備積立金(28,171,541円)より、分配対象収益は72,901,413円(1万口当たり239円)であり、うち15,248,371円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

[第13期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,092,228円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(21,108,540円)および分配準備積立金(30,159,392円)より、分配対象収益は68,740,160円(1万口当たり251円)であり、うち13,660,083円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第12期	第13期
	2025年4月29日 ～2025年7月28日	2025年7月29日 ～2025年10月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.492	50 0.490
当期の収益	50	50
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	189	201

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2025年7月26日適用で、信託期間を延長し、2032年10月28日までとする信託約款の変更を行いました。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

(2025年4月29日から2025年10月28日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
第1290回国庫短期証券	千円 1,253,737	第1303回国庫短期証券	千円 646,770
第1303回国庫短期証券	725,730	第1314回国庫短期証券	47,990
第1238回国庫短期証券	685,879		
第1314回国庫短期証券	76,959		
第1331回国庫短期証券	28,970		

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

下記は、マネーアカウントマザーファンド全体(47,960千口)の内容です。

公社債

(A)国内(邦貨建)公社債<種類別>

(2025年10月28日現在)

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 29,000 (29,000)	千円 28,982 (28,982)	% 60.2 (60.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 60.2 (60.2)
合計	29,000 (29,000)	28,982 (28,982)	60.2 (60.2)	— (—)	— (—)	— (—)	60.2 (60.2)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B)国内(邦貨建)公社債<銘柄別>

(2025年10月28日現在)

銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)	% —	千円 29,000	千円 28,982	2025/12/15
第1331回国庫短期証券				
合計		29,000	28,982	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

組入投資信託証券の内容

ＵＢＳユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-日本株式プレミアム戦略ファンド(適格機関投資家限定)
(資産成長型クラス)(分配型クラス)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針 主な投資対象	担保付スワップ取引を通じて、実質的に代表的な日本の株価指数を原資産としたプットオプションを売却する想定上の取引戦略に対するエクスポージャーを提供することにより、中長期的な資本成長の提供を目指して運用を行います。
投資態度	①担保付スワップ取引を通じて、実質的に代表的な日本の株価指数(参照指数)を原資産としたプットオプション(期間約1ヵ月)を売却する想定上の取引戦略に対するエクスポージャーを提供することにより、中長期的な資本成長の提供を目指して運用を行います。 ②売却するプットオプションの権利行使価格をプットオプション構築時の参照指数値の92%とすることで、参照指数の下落による損失を低減しつつ、プレミアムの獲得を目指します。 ③資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①原則として、店頭オプションおよび上場オプションへの直接投資は行いません。 ②空売りを行った有価証券の時価総額が純資産総額を超える有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性に欠ける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥投資運用会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的の取引等は行いません。
決算日	9月末日
分配方針	(資産成長型クラス)原則として、分配を行いません。 (分配型クラス)原則として、3ヵ月毎に分配を行います。
投資運用会社	ＵＢＳマネジメント(ケイマン)リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : UBS証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン(シンガポール支店)より入手したデータをもとに作成したものです。

(1)各クラスの状況

作成基準日：2024年9月30日

	受益権総口数
資産成長型クラス	654, 508口
分配型クラス	361, 144
合計	1, 015, 652口

(注) 日付は現地基準です。

(2)損益計算書

計算期間：2023年10月1日～2024年9月30日

	単位：円
収益	
手数料収入	293, 736, 046
担保付スワップ取引に係る純損益	(38, 937, 074)
収益合計	254, 798, 972
 運用費用	 22, 383, 689
運用費用合計	22, 383, 689
 運用損益	 232, 415, 283
 分配前の期中の純資産変動	 232, 415, 283
 支払分配金	 (271, 352, 357)
 分配後の期中の純資産変動	 (38, 937, 074)

(注) 日付は現地基準です。
(注) ()書きは負数です。

(3)組入資産の明細

作成基準日：2024年9月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
資産成長型クラス	6, 545, 079, 796	6, 893, 278, 042
分配型クラス	3, 611, 442, 013	3, 535, 601, 731
合計		10, 428, 879, 773

(注) 日付は現地基準です。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第31期（決算日 2025年6月10日）

（計算期間 2024年12月11日から2025年6月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2025年6月10日に第31期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債券比率		純資産総額		
		期騰	中落率	債組入比率	債先物比率	百万円
27期（2023年6月12日）	円 9,989	%	△0.0	—	—	412
28期（2023年12月11日）	9,986		△0.0	—	—	1,911
29期（2024年6月10日）	9,983		△0.0	59.9	—	240
30期（2024年12月10日）	9,995		0.1	60.0	—	652
31期（2025年6月10日）	10,018		0.2	60.0	—	1,210

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	債券組入比率	債券先物比率	
			騰 落 率	%
期首 (前期末) 2024年12月10日	円 9,995	% —	—	60.0
12月末	9,997	0.0	60.3	—
2025年1月末	9,999	0.0	60.4	—
2月末	10,000	0.1	62.9	—
3月末	10,004	0.1	59.9	—
4月末	10,011	0.2	61.3	—
5月末	10,016	0.2	59.9	—
期 末 2025年6月10日	10,018	0.2	60.0	—

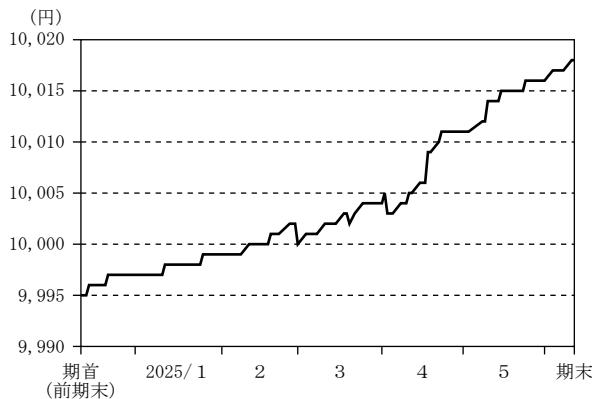
(注) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円から期末は10,018円となりました。運用対象である国庫短期証券、コール・ローンの利回りがプラスであったことにより上昇しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券 3 カ月物利回りは、期首の0.15%から期末は0.46%となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は比較的安定的に推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2024年12月11日から2025年6月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2024年12月11日から2025年6月10日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円	千円
		4,636,339	2,968,752 (1,333,300)

(注) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

主要な売買銘柄 (2024年12月11日から2025年6月10日まで)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
第1290回国庫短期証券	千円 1,253,737	第1287回国庫短期証券	千円 833,762
第1287回国庫短期証券	849,726	第1286回国庫短期証券	469,804
第1238回国庫短期証券	685,879	第1283回国庫短期証券	406,894
第1286回国庫短期証券	514,765	第1280回国庫短期証券	402,926
第1283回国庫短期証券	406,921	第1269回国庫短期証券	321,938
第1280回国庫短期証券	402,890	第1220回国庫短期証券	229,953
第1220回国庫短期証券	238,939	第1257回国庫短期証券	209,484
第1257回国庫短期証券	209,498	第1226回国庫短期証券	93,988
第1269回国庫短期証券	73,980		

(注) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2024年12月11日から2025年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2025年6月10日現在)

下記は、マネーアカウントマザーファンド全体 (1,208,340千口) の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区分	当期						期末
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	726,000 (726,000)	725,922 (725,922)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)
合計	726,000 (726,000)	725,922 (725,922)	60.0 (60.0)	— (—)	— (—)	— (—)	60.0 (60.0)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘柄	当期				期末
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日	
(国債証券)	%	千円	千円		
第1238回国庫短期証券	—	726,000	725,922	2025/6/20	
合計		726,000	725,922		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2025年6月10日現在)

項目	当期		末
	評価額	比率	%
公社債	千円 725,922		60.0
コール・ローン等、その他	484,578		40.0
投資信託財産総額	1,210,500		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	1,210,500,871円
コール・ローン等	484,572,192
公社債(評価額)	725,922,660
未収利息	6,019
(B) 純資産額(A)	1,210,500,871
元本	1,208,340,718
次期繰越損益金	2,160,153
(C) 受益権総口数	1,208,340,718口
1万口当たり基準価額(B/C)	10,018円

(注) 期首元本額 652,364,714円
 期中追加設定元本額 6,675,689,744円
 期中一部解約元本額 6,119,713,740円

(注) 1口当たり純資産額は1,0018円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 デジタルヘルス株式ファンド 6,788,498円
 Jプレミアム・インカムファンド(年1回決算型) 27,771,792円
 Jプレミアム・インカムファンド(年4回決算型) 17,939,969円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(インド・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(インド・ダブルペア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(中国・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(中国・ダブルペア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(NASDAQ100・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(NASDAQ100・ダブルペア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(金・ダブルブル9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(金・ダブルペア9) 20,025円
 T&Dダブルブル・ペア・シリーズ9(マネーブールファンド9) 1,155,680,259円

損益の状況

当期 自2024年12月11日 至2025年6月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	1,518,260円
受取利息	1,518,260
(B) 有価証券売買損益	△ 89,118
売買益	35,023
売買損	△ 124,141
(C) 当期損益金(A+B)	1,429,142
(D) 前期繰越損益金	△ 302,985
(E) 追加信託差損益金	4,310,256
(F) 解約差損益金	△3,276,260
(G) 合計(C+D+E+F)	2,160,153
次期繰越損益金(G)	2,160,153

(注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。